

て、それもそのファールで1球々々が見ていても非常にバットコントロールが難しい球が来ていた。それをイチローはカットして逃げていたが、ついに、最後はイチローがヒットを打って、クレメンスに打ち勝ってしまった。わたしもイチローの魔術師のような巧い技に見惚れていた。解説者が言っていたように、スタジアムに集まって観戦していた人も、その他メディアで観戦していた世界の人々もイチローの技にたぶん感心したのではないかと思います。さすがは、去年の首位打者だと思われた。それも、膝の怪我をしながらの奮闘であったので、なおさら、イチローの野球への執念のようなものを見せられているようだった。

残念ながら、ナリナズがヤンキースに負けたが、しかし、イチローのこの勇姿は記憶に残る名場面だとわたしには思われた。今年も怪我を克服して、わたしたちにその心技体の素晴らしさを見せてもらいたいものだ。

5月の祝い:

誕生日			結婚記念日		
会 員		夫 人			
丸山 誠一	19	淵岡 文	3	早川 龍雄・町子	2
		山口 ミチ	13	樋口 金占・トシ	4
		坂爪 富子	16	中條 耕二・敦子	5
		斎藤 裕子	20	大竹 保男・チエ	8
				長谷川博一・友恵	14
				坂内 康男・智恵	15
				梨木 建夫・三枝子	20
				米山 忠俊・和子	24
				西村 護・智恵子	31

5月7日例会: 環境保全月間 卓話 小林良範様

5月14日例会: 卓話 小林 満会員・淵岡 茂会員

5月21日例会: 地区協議会報告会

5月28日例会: 卓話「仕事や人生に大成功する方法」佐藤啓策会員

6月4日例会: 家庭会合報告会

6月11日例会: クラブフォーラム

6月16日例会: (日) 社会奉仕事業「五十嵐川～歴史と自然の道」

6月18日例会: 16日に振り替え

6月25日例会: 会長幹事慰労会 18:30～ 三条ロイヤルホテル



三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例 会 日
2002. 4. 30
累 計 No 751
当 年 No 42

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会 長/木 宮 隆

幹 事/山 中 正

SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30～13:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事: 夜例会 午後7時点鐘 於三条ロイヤルホテル

卓話「人道的プログラム」提案説明

第四分区アシスタントガバナー 中條 耕二会員

出 席: 本日の出席 58名中 44名(内記帳14名)

先々週の出席率 58名中 47名 81.03%(前年同期79.31%)

先週のメイクアップ: 4月23日 田上RCへ 石川勝行さん

24日 三条RCへ 山上茂夫さん、高橋彰雄さん、佐藤義英さん

25日 燕RCへ 中條耕二さん

ビ ジ タ ー: 三条RCより 五十嵐総一さん、細井増雄さん、石橋育於さん

会 長 挨 拶: 木宮 隆



大学を卒業して、東京の某百貨店に就職したのはもうかれこれ30年以上前、学卒の初任給が4万円そここの頃だ。学卒だけで同期が150人余り採用された様に記憶している。

当時から日本の大企業は総合型の事業コンプレックスで、ありとあらゆる部門が1社の中に統合されていた。事業部制、分社、アウトソーシングといった現在のスリム化の流れとは正反対の肥大化路線が有り余る労働力に、潤沢な雇用機会を提供してきた。

言い方を変えれば、企業には余剰な人員がゴロゴロ居たと言う事になる。

よくよく考えてみると、日本の社会ほど資本主義だと言いながら、社会主義的政策がまかり通っている社会は珍しいのではないかと。国と大企業との絶妙な連携プレイが見てとれる。即ち、国は企業に営業上の特権を規制的恩典として与える見返りに、企業は非効率と知りつつも、余剰労働力を吸収し、失業率を一桁台に維持してきたのではないのか。

1 %の金利でも、充分やっていける銀行に対し、5 %でないとやっていけない銀行の為に、5 %の金利を義務づける・・・いわゆる護送船団方式により、高コスト体質を維持できる収益性を規制により保証して来たのではないのか。

近年、経済がグローバル化するなかで、規制が撤廃され、市場原理にもとづく競争が激化するにつれ、国と大企業の連携が崩れつつある。

電力、鉄鋼、建設、流通、金融といった、規制に守られてきた産業分野で、国際競争力を失った企業が余剰人員のリストラを余儀なくされている現実を見るといい。これこそ正に、日本型社会主義の崩壊ではないか。

余剰人員はリストラすればいい、余計な業務は外部の専門家にアウトソーシングすればいい、しかし、最も問題な点はこの規制による特権と大量雇用を交換条件に完全雇用と高コスト社会を維持してきた日本流社会主義を下支えしてきたこの国の教育制度である。一生懸命勉強し、良い大学に入り、大企業に就職するというサラリーマンの大量生産システムが我が国の教育制度だった様なきがする。だから、日本の若者には起業家精神が欠如している。日本経済が栄光の80年代の活力を取り戻すのは容易でないとすればその原因は教育、なにかんづく人の問題だと思う。

市場原理が規制の撤廃によりもろに作用するグローバル社会において、規制に守られ、乳母日傘で育った、日本の企業は競争を勝ちぬいていけるのだろうか。「寄らば大樹の陰」と大企業への就職のみを志向する若者に、自らが雇用機会を拡大する起業家になるだけの気概があるのだろうか。双方にとって、正にこれからが試練のときである。

幹 事 報 告： 山中幹事

・ガバナー事務所より 人道的プログラムスタートに向けてのお願い

地区協におけるバザー協力依頼

・三条RC、三条南RCより 例会場変更のお知らせ

5月の通常例会は全て会場はハミングプラザビップとなります

メイクアップの際はお間違いないようお願いします

ニコニコボックス：	30日現在累計 910,000円
-----------	------------------

大野新吉君 本日の卓話、中條さん宜しく申し上げます。今月の保内植木祭りで又色々の庭木が我が家の住人となりました。斉藤会員にもやっかいになりました。その中で新宮“愛子様”の守り木として御用つつじ（やしょうつつじ）が仲間に加わりその下で盛大？に花見をしました。ちなみにこの御用つつじは栃木県の天然記念物で“愛子様”の守り木と言う事で盗木が相続いてあまりにもひどすぎるとの事で県条例で罰則がきびしくなったと読売新聞に4日前記載されていました。

斉藤興一君 春になると休みがちですみません。夜だけ元気です。中條さん、たのしみにして

訪問と相成った次第であります。

蛇足ながら、野沢ガバナーは個人的にも知的障害のお孫さんのことも触れながらお話されていたのも印象的であり、ロータリーの歴史の中にこのような人道的プログラムの推進が大実業家の野沢ガバナーのもとでおやりになることも、仮にも私財をなげうってもやりたいと熱望されるガバナーがおられることにむしろ感動をおぼえた次第であります。ロータリアン100%のご協力が仮に頂けなくとも、心ある人がこれに共鳴されれば良いのであると私も申し上げた1人であります。どうぞ、この人道的プログラムを北ロータリークラブの皆さんにご了解頂きますことを心よりお願い申し上げ、私の野沢ガバナーからのご要請の責めを果たさせて頂きたく思っております。

最後にAGとなってロータリーの今はやりの構造改革といきこんでいたAGの役割も、野沢ガバナーという強烈なリーダーシップの前にもろくも崩れ、正にガバナーのカバン持ち、昔の分区代理そのもの、リーダーシッププランのAGからほど遠い自分を反省している次第であります。ベンチャービジネスの大成功者の野沢謹五氏という人、一介の刑務所の監視人から立ち上がり、治安という新しい産業に挑戦し、正に動機・出会いを大切に英知と度量の大きさ、そして細かい神経と情緒を持った近代稀なる人物、何万人に1人の怪物と思う次第であります。囚人に学び、駒形十吉さんに助けられ、正に生涯学習を地でゆかれる人と思う次第であります。

これからのロータリークラブの中からこのような人がどんどんと現れて欲しい。ロータリークラブに入って色々な勉強ができ、色々な人とつき合える機会を作って頂いた北クラブの方々に心から感謝しております。

しかしながら、我が三条北クラブも昭和61年に発足し、チャーターメンバー34人でスタートしたメンバーも19人となり、15人が退会された。

「年々歳々ひと同じからず」であり、人生の悲喜こもごもを考えさせられるこの頃であります。皆さん方のご活躍とご健勝をお祈りし、私の卓話を終わります。

会 員 の 声： 魔術師と言われるイチローのすごさ 長谷川 博一

去年一度も怪我のなかったイチローが、4月27日のニューヨーク・ヤンキース戦で守っている時、ボールを取ろうとして壁に激突して膝を痛めてしまった。今後が、心配である。その後も、膝を赤く血で染めながら、試合に出場しつつ、ついにヒットを打ってしまった。それも、ヤンキースのエース、クレメンスから。その日、マリナーズは中々ヒットが打てずこのヒットが二本目だった。大事を取ってその後、ベンチに退いたが、さすがはイチローである。ユニホームを赤く染めながらも、痛いそぶりを見せないで、戦っていたのが、印象に残った。

ちょうど、わたしは土曜で会社が休みだったので、家で片付けものをしてながら、テレビ観戦をしていた。イチローが、ヒットを打った時、解説者が「この場面だけ見ても充分価値がありますね。」と言っていた。なぜかと言うと、その時のイチローのバットコントロールが実に素晴らしかったからである。ツーストライクを取られてからも、たしか6，7球、連続してファールで逃げ